

ispace

- ・NASAの10年間で予算26億ドルの月面輸送サービス(Commercial Lunar Payload Services, CLPS)に米・ドレイパー研究所等とチームを組み、採択された(計9チーム採択)(2018.11.29)。
- ・月探査プログラム「HAKUTO-R」のコーポレートパートナーにJAL、三井住友海上、日本特殊陶業が、メディアパートナーに朝日新聞が参加(2019.2.22)

HAKUTO-Rツイッターより引用



アクセルスペース

- ・GRUS初号機を打上げ(2018.12.28)、撮影画像を公開(2019.3.11)
- ・GRUS追加2機及び福井県民衛星の2020年の打ち上げ決定(2019.3.12)
- ・革新的衛星技術実証プログラムによりJAXAから受注したRAPIS-1を打上げ(2019.1.11)、初期運用中。

GRUS撮影画像
(アクセルスペースHPより/羽田空港周辺)



ALE

- ・革新的衛星技術実証1号機/イプシロンロケット4号機により打上げ(2019.1.18)。2020春、広島・瀬戸内エリアにて初チャレンジを実施予定。
- ・JAXAと「宇宙イノベーションパートナーシップ(J-SPARC)」の枠組みで連携。宇宙デブリ拡散防止に貢献する、導電性テザーを用いた装置の開発に着手。(2019.2.28)

ALE HPより



インターステラテクノロジズ

- ・2023年打上げを目指した、超小型衛星の軌道投入ロケット「ZERO」の開発推進に向け、8企業等からなる「みんなのロケットパートナーズ」を立ち上げ(JAXAとのJ-SPARCを通じた連携を含む)。(2019.3.19)。

インターステラテクノロジズHPより引用



ASTROCEAN

- ・S-Booster 2018において、「ロケット海上打上げ」の提案で最優秀賞を受賞した森氏が「ASTROCEAN」を起業。
- ・千葉工大と連携し、千葉県御宿町の沖合500mの地点から、小型観測ロケット(全長約1.7m)を打ち上げた(2019.3.2)。

海上打上げ用のフロート
千葉工業大学の発表より引用



Space BD

- ・ISS「きぼう」の船外実験装置「i-SEEP(中型曝露実験アダプター)」の利用拡大に向けた事業者として選定された(2019.3.8)。
- ・選定直前にも既にスペイン企業による「i-SEEP」利用を受注(2019.2.25)。

JAXA資料より

